

# 令和 6 年度 事業実績報告

## 居宅介護支援事業所けやき

### 目 次

1. 利用状況
2. 基本計画状況
3. 評価と課題

## 1. 利用状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	13	7	5	1	4	30
5月	13	6	5	3	4	31
6月	19	4	6	5	4	38
7月	19	5	5	4	3	36
8月	16	6	5	6	2	35
9月	17	6	5	5	1	34
10月	16	6	5	5	1	33
11月	18	4	5	6	0	33
12月	17	4	8	8	1	38
1月	17	4	5	9	1	36
2月	18	4	6	7	1	36
3月	19	5	4	8	1	37

○令和 6 年 3 月～5 月まで介護支援専門 2 名体制。その後徐々に重度の方が増えてきている。重度では施設入所もあるが、最近では在宅での生活も多い。地域包括支援センター、医療機関ほか在宅からの相談も増えている。現在は職員員数1名体制。

## 2. 基本計画状況

○課題分析の実施 契約 サービス調整

令和 6 年度、新規受け入れは 17 件対応している。

○サービス担当者会議

殆どはご自宅で行うが、開催困難時は事業所より文書での対応をしている。

○居宅サービス計画確定

利用者、家族に説明し同意と交付をする。事業所にも書類交付している。

○モニタリング

ご本人面談後、経過状況を記録し保管している。

○再課題分析 居宅サービス計画見直し

ご本人の状況変化に伴い見直し行い対応している。

○終結

永眠 7 名 GH 入所 1 名 介護医療院入所 1 名 地域包括支援センター  
管轄 1 名となっている。

○介護保険給付業務

利用票 提供票の作成、各事業所からの実績報告後、国保連合会請求業務を  
行う。

○地域連携

利用者が安心して過ごせるよう関係機関、医療機関、地域包括支援センター  
などと連携している。

○虐待の予防

人権擁護 虐待防止のための研修参加など取り組んでいる。

○業務継続計画の策定 衛生管理

感染症 災害発生時の継続的な支援について研修参加など取り組んでいる。

○営業日及び営業時間

営業時間以外に緊急の連絡は数件あり主に電話での対応となっている。

○職員体制 日課 会議

介護支援専門員 1 名体制であり、事業所加算などの取得はなく運営となっ  
ている。

○苦情解決

今年度苦情はなし。

### ○研修

目的:スキルアップを図り取り組み、参加する。

#### 外部研修

	研 修 内 容	場 所	参加者
R6年6月21日 ～ R6年9月30日	適切なケアマネジメント手法 (毎月1回 計4回)	リモート	鈴木
R6年10月4日	介護サービス情報の公表制度 「10の研修テーマ」	リモート	鈴木

#### 内部研修

	研 修 内 容	場 所	開催者
R7年1月29日	研修発表会(法人教育委員会主催)	デイサービス	教育員会

## 3. 評価と課題

職員一人対応中ながら、医療機関、地域包括支援センター、地域の方より相談、依頼していただき対応させていただいております。

また、介護度別に見ても重度者の在宅者も多くなっているため、状況において細やかに確認していくことが大切になっています。

営業時間外での緊急の連絡では、数十件あり電話対応で可能ではありません。居宅介護支援の観点から、介護者の自立を図るうえで事業所との連携は継続、介護者の身体面、精神面の把握していく必要はあります。

新規相談依頼とともに対応できる範囲も狭まっていますが、入所の必要性も考慮しますと対応件数についてはなみがあることを視野に入れて支援できれば思います。

また一人対応上、研修参加なども限界を感じることはありますが、必要な研修には参加させていただきスキルアップを図っていければと考えております。